

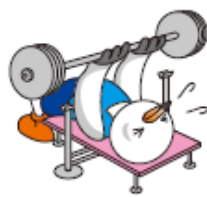
(1)体験ブース 12競技・種目

- カヌー
- 車いすカーリング
- 車いすテニス
- 車いすバスケットボール
- スルーネットピンポン
- デフサッカー
- トライアスロン
- フライングディスク
- ブラインドフットボール
- ペガーボール
- ボッチャ
- ボルダリング



(2)展示ブース 10競技・種目

- ゴールボール
- パワーリフティング
- 馬術
- ボート
- 車いすフェンシング
- アーチェリー
- テコンドー
- 卓球
- 水泳
- アイスホッケー



(3)その他ブース

- 障害者スポーツコンシェルジュ
- TEAM BEYOND
- 東京都人権プラザ
- 東京2020大会アーカイブ資産等展示ブース
- デフリンピック等展示
- パラスポーツVR体験（協力：株式会社リクルート）



時間	プログラム	出演ゲスト等	内容
10:10 ～ 10:30	オープニング	菅野浩二さん、瀬立モニカさん 根木慎志さん、西村元樹さん 古澤拓也さん、バックンマクン さん、おばたのお兄さん	イベント及びゲストの紹介
10:30 ～ 10:50	東京都障害者スポーツ センタープレゼンツ 体操タイム	菅野浩二さん、根木慎志さん	東京都障害者スポーツセン ターによる体操
11:00 ～ 11:30	デフサッカー・ブラインド フットボール紹介ステージ	バックンマクンさん	デフサッカーとブラインド フットボールの競技紹介・ デモンストレーション
11:45 ～ 12:00	日本知的障害者 チアリーディング協会 パフォーマンス	-	日本知的障害者チアリー ディング協会によるパ フォーマンス
12:00 ～ 12:50	車いすバスケットボール エキシビションマッチ	根木慎志さん、西村元樹さん 古澤拓也さん、バックンマクン さん、おばたのお兄さん	ゲストと子供たちによる 車いすバスケットボールの 対戦企画
13:15 ～ 13:45	第24回夏季 デフリンピック競技大会 顕彰式	別紙3-2のとおり	今年開催された第24回夏季 デフリンピック競技大会で 活躍した都内在住メダリス トの顕彰式（東京都障害者 スポーツ協会実施）
14:15 ～ 14:30	和太鼓パフォーマンス	-	軽度知的障害がありながら プロ太鼓奏者として活躍す る友野龍士さんによる演奏
14:45 ～ 15:15	ペガーボールチャレンジ	菅野浩二さん、瀬立モニカさん、 バックンマクンさん、おばたの お兄さん	ゲストと子供たちによるペ ガーボール※の対戦企画
15:20 ～ 15:40	デフスポーツってなあに？ 紙芝居ショー	-	かみはる＆ヤムちゃんによ るデフスポーツをテーマに した紙芝居ステージ
16:00 ～ 16:30	パラスポーツクイズ大会	菅野浩二さん、瀬立モニカさん、 根木慎志さん、バックンマクン さん、おばたのお兄さん	オンライン視聴者も参加可 能なパラスポーツに関する クイズ大会
16:30 ～ 17:00	エンディング	菅野浩二さん、瀬立モニカさん、 根木慎志さん、西村元樹さん、古 澤拓也さん、バックンマクン さん、おばたのお兄さん、ミライト ワ・ソメイティ	ミライトワ・ソメイティに よるダンスパフォーマンス など

※ ペガーボールとは、ポンチョを着た鬼役を追いかけてボールを当てるスポーツ。多くのボールを  
くっつけた方が勝ちというシンプルなルールで、障害のある人もない人も楽しむことができる。

## 第24回夏季デフリンピック競技大会顕彰式 (公益社団法人東京都障害者スポーツ協会実施) 顕彰対象者一覧

	氏名	競技	種目	顕彰式出席
金	藤原 慧 (ふじはら さとい) 選手	水泳	男子400m自由形、男子1500m自由形 ※銀 男子200m自由形 ほか2種目	○
銀	星 泰雅 (ほし たいが) 選手	水泳	男子4×100mフリーリレー、 男子4×100mメドレーリレー	○
銀	伊東 勇哉 (いとう ゆうや) 選手	バドミントン	団体戦	○
銀	亀澤 理穂 (かめざわりほ) 選手	卓球	女子団体戦 ※銅 女子ダブルス	○
銀	川崎 瑞恵 (かわさき みずえ) 選手	卓球	女子団体戦 ※銅 女子ダブルス	○
銀	立石 里史 (たていし りさと) 選手	卓球	女子団体戦	
銅	湯澤 葵 (ゆざわ あおい) 選手	空手	女子組手	○
銅	簗原 由加利 (みのらはら ゆかり) 選手	自転車競技	女子ロードレース、女子個人タイムトライアル、女子ポイントレース	○
銅	亀澤 史憲 (かめざわ ふみのり) 選手	卓球	男子団体戦	○
銅	灘光 晋太郎 (なだみつ しんたろう) 選手	卓球	男子団体戦	○
銅	岡田 海緒 (おかだ みお) 選手	陸上	女子1500m	○

※現時点での出席者であり、今後変更となる場合があります。

### <デフリンピックについて>

国際ろう者スポーツ委員会（設立：1924年8月24日）の主催による聴覚に障害のある、ろう者の世界最高峰の大会である。4年ごとに開催され、夏季大会と冬季大会が交互に2年おきに行われる。初開催は、夏季大会が1924年フランス、冬季大会が1949年オーストリアであり、パラリンピックよりも歴史のある大会である。

コミュニケーションを全て国際手話により行うとともに（聴覚障害当事者による運営）、基本的にオリンピックと同じルールで運営する。

デフリンピックへの参加資格は、補聴器をはずした裸耳状態での聴力損失が55デシベルを超えている者で、各国のろう者スポーツ協会に登録している者である（障害の度合いによるクラス分けはない）。また、身体の安全を確保するため、競技中に補聴器を装着することは禁止されている。

2022年9月10日（日本時間9月10日）、国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）の総会において、2025年のデフリンピック大会の開催地が東京に決定。

（参考：全日本ろうあ連盟ホームページURL：<https://www.jfd.or.jp/p/24298>）